

稲グリ新聞

〔発行〕
早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ
〒169 東京都新宿区西早稲田
1-1-7早稲田文化センター内
TEL.(03) 3208-2711
〔編集〕加藤 晴生
類原 信二郎
佐々木 豊
石川 大南
〒208 武蔵村山市大南
2-26-12類原信二郎方
TEL.(0425) 65-1839
(毎月1回発行) 定価100円

定演まで僅か六ヶ月

一回一回の練習を大切に

演奏マネージャー 安斎 眞治(四七)

早くも、今年になって三ヶ月が過ぎ、定期演奏会まであと僅か六ヶ月となりました。

堀俊輔指揮者のステージの曲目ですが、「雨」以外にも多くの曲が候補に上がりましたが、最終的には当初予定されていた多田武彦作曲の男

声合唱組曲「雨」に決まりました。

石川さん(六一)の迅速な手配で早速楽譜(音楽之友社刊「多田武彦男

声合唱曲集4」も用意され、三日より阿部滋さん(五七)の指揮で練習が始まりました。早くも三月

二十四日には、指揮者自身による第

稲グリ・活動日程

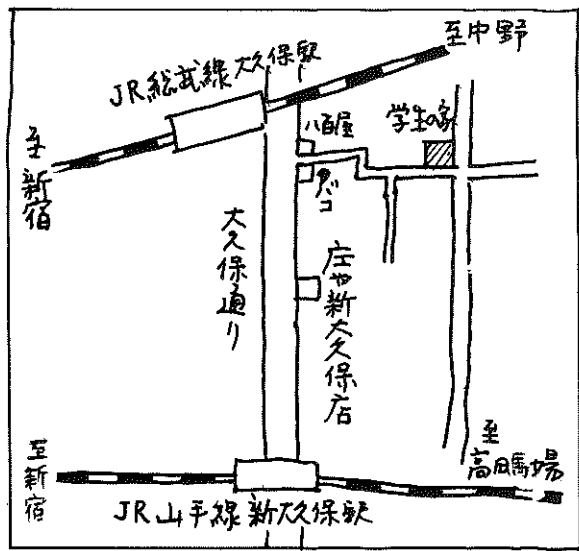
3月24日(火) 東混練習場 18:30~21:00 組曲「雨」 堀指揮者出席
31日(火) " " " 「十の詩曲」
*練習終了後、「庄や」にて「東混練習場お別れ会」

以後、新練習場「学生の家」にて練習開始

4月7日(火) 学生の家 18:30~21:00 「十の詩曲」
14日(火) " 18:30~21:00 Negro曲集
21日(火) " " " 組曲「雨」
28日(火) " " " " (堀指揮者)
<5月5日(火・祝)練習休み>
5月17日(日) 特別練習 時間、場所未定。
(6月、7月の特練日は後報)
8月11日(火) 夏休み(この日のみ練習休み)
22日(土)、23日(日) 特別練習 時間、場所未定。
9月5日(土)~6日(日)
『定演強化合宿』河口湖サニービレッジ
10月3日(土) 第24回稲グリ定期演奏会 東京芸術劇場
「打上げ」サンシャインシティ・プリンスホテル
9日(金) 特ステ・神奈川県稲門会 (横浜)
12月未定 平成4年度「総会」
第11回グリーンクリスマス 半蔵門会館
19日(土) コーラス・イン・マリオン 朝日ホール

4月からの練習場 「学生の家」

- ◆総武線(黄色い電車)大久保駅から徒歩7~8分
- ◆山手線新大久保駅から徒歩10~12分
- ◆テニスコートと隣り合った教会風の建物。門を入れて左手の建物。



油断大敵「十の詩曲」

一回目の練習が行われます。これは早い機会に堀さんの「雨」に対する全体像を知った上で、これからの練習に臨もうという狙いで行われるものです。歌ったことのある方も、まだ譜読みの出来ていない方も、譜面を確実に見直す意味でも、音を確認する意味でも、これから練習するに当たって大切な機会ですので、是非練習に参加して下さい。

続いて山本正洋さん(五七)指揮によるシヨスタコヴィツの「十の詩曲」より「六つの男声合唱組曲」の練習も、三月末よりスタートします。昨年のOB四連での名演が思い出されますが、一度やった曲だからと言って油断は禁物です。むしろ、新曲よりも真剣な気持ちで臨む位の覚悟が必要です。音取りや曲想の表現など、少ない練習時間の中で、全て自分のものとして消化させなければ

「ニグロ」は自習が絶対必要

ばなりません。現役早稲田グリーメンの出演も決まりました。久々の現役との共演になり、稲門グリー四十周年を飾るに相応しいステージになりそうです。他の合唱団には出来ないような、大編成の男声合唱の醍醐味を是非実現しましょう。

一、二月に集中練習したニグロスピリチャルズは、暫くの間は飛び飛びの練習となります。指揮者の長沢護さん(三六)がいつも言っているように、自分で練習をして来ないと練習場での効果は上がりません。今後の能率のためにも、自習をお忘れなくお願いします。

定演は四ステージありますので、ワンステージの練習にはどうしても限りがあります。定演まであと僅か六ヶ月。一回一回の練習を大切にしなければなりません。それぞれ

練習状況

二月二十五日(火)からの練習は、当初の予定通りとなった堀俊輔さん指揮ステージの組曲「雨」(全六曲)が中心。練習指揮の阿部さん(五七)の手際の良い棒で「I雨の来る前」「II武蔵野の雨」「IV雨、雨」「V雨の日に見る」「VI雨」を一通りさらう。二十四日の本指揮者登場までになんとかカッコウをつけねばっ飛ばされるとき、阿部さんはアセリ狂っているが、どうなることか。テナリの出席が悪いので、仕上りの足を引張っているのが現状か。

- ◆久々登場メンバー
- T1 中村正次郎(H三)
 - B1 黒田 憲治(三六)
 - 三雲 孝夫(四〇)
 - 星 賢太郎(四七)

出席記録

	2/11	25	3/3	10
T1	7	8	9	7
T2	10	9	8	10
B1	9	9	14	11
B2	20	13	18	20
	46	39	49	48

【ハミダシ情報】江連久雄さん(五五)が二月一日(東京大雪の日)、ホテルニューオータニで結婚ゴールイン。新婦はお見合い即相思相愛となった郁子さん。隣の会場では千代の富士の断髪式の披露宴でスモウ取り連中がウロウロ。同期の福島さん、高野さんらが危うくスカウトされそうになったとか。

2万円だよー
ヨロシクネー



3月27日(金)は
会費の銀行自動引落日です

ー 前日までに口座にご入金をお忘れなく ー
◆ A会員=20,000円 ◆ B会員=5,000円

なお、自動引落しの手続き未済の人は、練習場で納入するか、下記口座宛て送金してください。

★銀行口座
三菱銀行日本橋支店 普通預金 No.4613954
「稲門グリーンクラブ 石原祥弘(よしひろ)」

★郵便振替口座
東京 9-134582 「稲門グリーンクラブ」
(京橋通り郵便局)

****この機会に是非
自動引落しの手続きをお願いします****

愛唱歌集「ソング・オブ・ワセダ」Ⅱ 発刊に向けて編纂委員会奮戦中

今年に入ってから毎月開かれて
いる幹事会もさることながら、更
に精力的なのが、愛唱歌集「ソ
ング・オブ・ワセダ」パートⅡの編
纂委員会。今年八月末には全OB
の手にしてもらおうと、すでに打
合せも三回を数え、ほぼ内容も固
まってきた。

頑張っている委員会メンバーは
次の方々。

委員長 榎木 潔身(二六)
委員 志賀 信(二九)
徳田 浩(三一)
耕納 邦雄(三七)
土屋 信吾(四四)

この「ソング・オブ・ワセダ」
の編纂方針は、基本とされる一〇
〇曲の選び出しから始まり、最優
先のもの(「校歌」)、「遙かな友
に」(五〇)を第一集に、次のも
のを第二集に収録するということ
になっている。

第一集同様、グリーンOB必携の
愛されるものを期待したい。

拍手!!

川元 啓司(五六)
石川 了(六一)
オプザーバー 共戸 誠(現四)
鈴木 啓太(現四)

《第三回稲グリ幹事会・議事録》

- ◆ 二月十四日(金)
午後七時~九時半
- ◆ 会長、幹事長以下十八名出席
- ◆ 議 事
- 1. 二四定期演奏会(以下の通り承認)
- (1) 日 程
練習日程は別記の通り。
* 八月二十二日(土)、二十三
日(日)強化練習。
* 九月五日(土)、六日(日)
強化合宿。
* 五月より月一回の日曜日練習
を組む。五月は十七日(日)。
六月、七月は後報。
* プログラム等広告募集開始
四月一日
(担当) 穎原チーフマネ
- 余剰金が出た場合、海外演奏
旅行準備金に振り当てる。
* チケット発売開始
七月七日
(担当) 清水マネ、土岡マネ
- (2) 諸事務担当
* プログラム 徳田(三一)
佐々木(五九)
* ステージ構成(特に四ステ)
北代博(二九)
* 司 会 榎沼郭(五三)
* 打上げ準備 清水卓爾(四〇)
* 四十周年を記念して大阪で
の定演開催が提案されたが、
本年度は見送ることとする。
- 2. 台湾高雄市婦女合唱団来日の
こと
本年は、稲グリスケジュール
が決まっているので、ジョイン
トコンサート開催は困難だが、
交歓会を開き、旧交を温めたい
ので、来日日程を知らせるよう
求めることとする(二月十七日
出状済)。

- 3. 毎年定演開催については、種
々意見が出されたが、結論に至
らず、継続審議とする。
- 4. 第六回マリオンについて
稲グリとしては、演奏を充実
させるためにも、①第一回と同
様、各団ステージと「みんな
歌おう」だけとする。②「みん
なで」のステージも、できる
だけ新曲は取り上げないこと、
等を三団マネ会に提案する。
- 5. 愛唱歌集Ⅱのこと
二月六日、第一回ミーティン
グを開催(榎木、志賀、徳田、
川元、石川)。編纂委員に土屋
さん(四四)を加え、更に三十
年代後半卒者、及び現役から各
一名を加えることとした。
制作はカワイ出版、八月末日
を目標に出版する。発行部数、
予算は別途幹事会の承認を求め
ること。
- 6. OB会費のこと
(1) 未登録会員への参加呼びか
けを積極的に進めること。
(2) 会費未納オンスメンバー
への督促強化(まずは稲グリ
新聞で支払協力を求める)。
- 7. 海外演奏旅行
調査、交渉状況についての中
間報告(省略)
- 8. 現役大阪演奏会
大阪校友会、大阪稲グリの協
力により、八月九日(日)、大
阪厚生年金会館にて開催される
予定。
- 9. その他
* 五月三十一日浦安稲門会特ス
テの要請は、現役に譲る。
* 多田武彦氏の合唱演奏会に対
する希望(聞き手が楽しめる
ような選曲等)、組曲「雨」
についての話し等紹介。
* 定演・堀指揮者ステージの選
曲について。(後日、「一雨」
に決定)。

プログラム広告ご出稿のお願い

創立40周年記念
第24回稲門グリーンクラブ定期演奏会プログラム A4判 28頁 3,000部
(サイズ)左右 天地(cm)

■表4、表3(カラー)全頁	21×29.6(以内)	300,000(円)
■本文	1頁	200,000
	1/2頁	18×13(枠付き) 100,000
	1/4頁	18×6 " 50,000

■お申込み締切=9月1日(火)完全版下にて。
■稲グリ・広告担当 穎原(えばら)(42)
連絡 先=☎0425-65-1839(自宅) (勤)☎03-3202-4407

【ハミダシ情報】柿沼新さん(五九)が、四月十一日(土)、飯田橋のホテル・エドモントにて、金田郁子さんと職場結婚ゴールイン。実兄・郭さん(五三)も大喜び。祈御多幸。

《四十四年卒同期会》 十年目の邂逅、狂乱の一夜

足の引つ張り合いで定評がある(？)四十四年度卒組の面々が、久々に席を囲んだ。二月七日夜、新宿は地下鉄三丁目駅横の高級料亭。名目は、約十年ぶりに仙台から東京に舞い戻った岡田武(B₁)を肴に一杯ということだったが、何とそこに十二人も集まったのである。これには、呼び掛け人の土屋信吾(T₂)も驚いた。この異変はバブル崩壊の後遺症か、それとも、ノストラダムスの世界終末の前触れか――。てなことはあり得ない訳で、単に、二月は、世の中が暇だということなのだ。まずは、恒例ののしり合い。二回も若いかみさんをもらった

磯明(T₁)、本田宗彰(T₂)が集中砲火を浴び、いい色に焼けた前田仁(B₁)の平日ゴルフの言い訳を怒号でかき消す。かつての美少年牧村憲一(B₂)の顔のシワを数え、後は「髪がうすい」だの、「稼ぎが悪い」だの、「PKO法案はどうする」だのと闘試合の様相。傍らでは、めでたく埼玉・久喜で県会議員の仲間入りをした我等がセンセ、田中喧二(B₂)が、「親戚が久喜にいる。票にながるよ」と関孟重(T₁)が投げた餌に飛びついていった。ほほえましい団らんには、無粋にも割り込んだのは、元指揮者の土屋。隠し持ったる印ろうならぬ楽

大阪稲グリ 新陣容でスタート!

大阪稲グリでは、一月二十七日に総会を開き、次の通り執行部を決定、活動計画を立てた。十月三日の東京での四十周年定演には大挙して応援に駆けつけるとのこと、東京としても心強いかぎり。以下、人事と活動計画。

- ◆執行部組織
- 名誉会長 坪井 秀夫(二八)
 - 副会長 田口 好之(三〇)
 - 須賀 敬一(三〇)
 - 山路 洋平(三二)
 - 豊田 千秋(三五)
 - 幹事長 田村謙之助(三九)
 - 副幹事長 藤野 充(四〇)
 - 幹事(演奏) 有田直之(四一)
 - 幹事(会計) 三宅 昇(三五)
 - 幹事(監査) 富永 侃(三五)

- 〃 (イベント・四連) 阿部良行(四一)
- 〃 浅野幸伸(五二)
- 〃 (内務) 西 宏昌(四三)
- 〃 吉田弦史(五六)

- ◆活動計画
- 練習 毎週月曜日六時半 東梅田教会
- *六月二一日(日) 大阪府合唱祭
 - *八月二九日(土) 関西OB四連(新大阪・メルパルクホール)
 - *一〇月三日(土) 東京定演参加
 - *一〇月一八日(日) 関西コンクール
 - *一二月二三日(祝) クロバーとの合同Xマス会(メルパルクホール)
 - *その他 宮崎演奏会、広島演奏会、盛岡演奏会など。

譜をばらまき始めた。「土屋がないと、俺たちはまとまらない」と府中健一(T₂)の皮肉まじりの援護を受けて、さあ歌えと仁王立ち。「音叉はどうした」という反対尋問にもめげず、パブロフの犬のごとく、かくも絶対音による大コーラスへと展開していった。玉川哲郎(T₂)が「俺はトツプ」といつもの悪い病気を出したが、それでも上から4、3、2、3の理想的な編成。甘美で一糸乱れぬハーモニーに彩られた愛唱歌が、料亭中に広がり、死んだ魚が全部生き返った。会場を、歌舞伎町の高級スナックに移した後も、

《四十年卒同期会》 野郎会二十一名出席、近況を交換

B₁ 三雲 孝夫 記

二月八日、今年もアルカディア市ヶ谷で恒例の同期会を持った。今回は、すでに昨年暮れ、中国の西安国際飯店に単身赴任の迫や、常連の広西、相場、菊地、前波が風邪や所用で欠席となり、人数的にはやや少なかつたものの、例年通り家族も交え、近況を交換した。今回の特筆事項は、B₁亀井が大日本印刷の中央研究所長兼務で取締役に就任したこと。数曲ハモリ、「早稲田の栄光」で来年の再会を約した一日だった。

《出席者》

T₁ 佐々木、鈴木(賢)一家、藤本、古沢

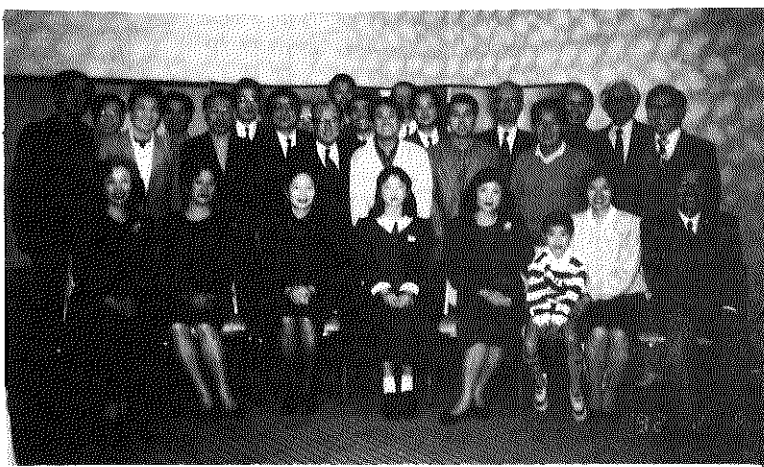
T₂ 稲山、井上、川口夫妻、工藤夫妻、鈴木(嘉)、中川

B₁ 亀井、島崎、菅原、三雲、吉岡夫妻

B₂ 磯部、大泊夫妻、清水、杉山、西多父娘、根本

陶酔はなおも続く。ほかの客からは、拍手とアンコールを求め声が引きも切らず――のはずだったが、魚は死んだまま、スナックの客も全員逃げ出したのは、一体どうしたことだったのだろうか。次の集まりは、岡田の発案で仙台で宴会+ゴルフと決まった。再び、華麗なハーモニーがみちのく路に展開することであろう。乞うご期待。

文責・「アカシアの径」の初代ソリストで「アカシア」がまた歌えるとは――と感涙にむせび、コーラスを無視して一人て歌い続けた：武藤辰彦(B₂)。



チャリティーコンサート
～日本の心を歌う～
山本健二バリトンリサイタル
ピアノ 萩原照彦 尺八 善養寺恵介



1992年5月16日(土)午後2時開演
有楽町・朝日ホール(千代田区有楽町マリオン11F)
入場料 3,000円(全席指定)
主催 朝日新聞東京厚生文化事業団
[演奏曲]ふるさとの、さくら貝の歌、南部牛追い唄ほか全21曲

【ハミダシ情報】三月十日の庄や異聞① 次期OB担当サブマネ有力候補(？)の太田慶君(二年)が、会話の中で「僕の親父は昭和二十年生まれです」。四十年代卒のOB諸氏絶句!

新OB 歓迎会

新人から最古参まで 六代に亘る卒年にピッタリ

TGS特派員 T.P

二月二十五日(火)は練習を早目に切り上げ、御馴染みの庄や四谷三丁目店にて新OB歓迎会が賑々しく行われた。平成元年より連続して四回目の開催になるが、二十三名中八名の参加(大村次郎、木村寿広、竹之内英明、成瀬鉄朗、萩野谷千穂、古宅頼行、山上充士、そして怪僧ラズブーチンこと和田英樹の諸君)はまずまず、皆、大先輩を前にしてもひるむことなく豊かな声量で歌う。若さば素晴らしい。



平凡“というところが 嫌いになったグリーライブ

新OB 竹之内英明(日四・部長)

グリークラブを卒団して、あり余る時間を手にしたにもかかわらず、何となくぶらぶらしてしまっている。今日この頃です。あの忙しかった頃を思い出すとゾッとすることもありますが、反面懐かしい気がするのには私だけではなんでしょう。

《第四十一回》現役送別演奏会を聴く

現役担当マネ 佐々木 豊(五九)

二月二十二日(土)、杉並公会堂で第四十一回早稲田大学グリークラブ送別演奏会を聴いた。私事になるが、この会場で現役グリーが歌うのは、私が大学二年生(最下級生)の時の第三十回送別演奏会以来である。因みに、この時の新生現役ステイジの指揮者が山本正洋氏、ピアノ伴奏が阿部滋氏(いずれも五七)、曲目が一月下の一群(第一集)であった。その後、調布、新百合ヶ丘、池袋、目黒と転々として、またここ杉並に帰って来たことになる。

ラブを大変魅力的なものとしてくれました。至って普通の人間であった。私は当初大変なショックを受けたものでした。しかし、いつしか普通、平凡ということが嫌いになってしまいました。これは彼らの責任にはかかりません。自分史を書くことがちよつとした流行であると言います。私がかつてくとしたら、グリークラブでの四年間が大学時代の大部分を占めることになりそうです。いろいろなことをやってやろうと大学に入りましたが、今更ながらグリー以外これと言ったことをやってきていないことに思い至りました。このことだけを考えると何かすごく空しい気もしますが、グリーの中心がこのうえなく充実していたことを考えれば、まあ、これでよしとしようという気になります。

編集後記

今号は、久しぶりに編集局員三人全員が揃っての作業で、快調なペース。紙面も面白くなったと思っております。春とともにこれからもつと練習に人が集まって元氣印の稲グリ復活といきたいものです。次号では、定演指揮者三人にご登場をお願い、抱負を語っていただくことにしたいと思います。

